



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

JAPAN EAST REGION

BULLETIN

2019~2020



国際会長

アジア太平洋地域会長

東日本区理事

より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

アクション! Action!

勇気ある変革、愛ある行動! Innovation with courage, action with heart!

2019.7.1 発行 第1号通巻62号



『勇気ある変革、愛ある行動!』

“Innovation with courage, action with heart!”

みんなで力を合わせて、1・2・3

Hop, Step and Jump with all Y' smen

東日本区理事 山田 敏明 (十 勝)

理事に就任するにあたり、初心を述べさせていただきます。

まずは、理事という大役の職務を頂けましたことは、私の人生において貴重な機会となり、東日本区のワイズメンの皆様には心よりお礼申し上げます。理事を引き受けたからには、皆様の期待に応えられます様、誠心誠意やり遂げます。職業人である以上、自分の正職も怠ることなく、そしてワイズダム発展の為に常に敏感なアンテナを持ち、皆様と積極的に挑戦します。

理事主題は「勇気ある変革、愛ある行動!」とさせていただきます。この主題は、第40代日本区理事(1994-1995年度)岡本尚男ワイズの理事標語をお借りしました。時代は変わっても、情熱と誇りを持つワイズを精神を守りつつ、YMCAを通して地域社会に奉仕するという旨は変わりません。それ以上に、混沌とする社会の情勢の中、ワイズ活動の意味が問われているかもしれません。

これまで、栗本治郎直々前理事の「広げよう ワイズの輪」、宮内友弥直前理事の「為せば 成る」の主題が意味するところは、いずれもワイズ東日本区の活性化であります。東日本区が発足してから22年が経ち、メンバー総数が約3分の2に減少しています。同じ身体でも血液が減っていけば、様々な問題が生じます。会員増強に皆様と真剣に取り組まなければ、ワイズの存在意義を失うかもしれません。今こそ、クラブを挙げて、「Change!2022」プロジェクトに取り組みましょう。メンバーの増強は、真のリーダーシップを持ち兼ねたリーダーの養成でもあります。

さて、ワイズとYMCAのパートナーシップ委員会も3年が経過しました。YMCAの会員であるワイズメンが、今後一層YMCAと手を組み、共に歩むべきビジョンが求められています。YMCAサービスは、私たちワイズメンにとっては、一丁目一番地です。

■ 東日本区理事

国際・交流事業は、とりわけワイズの基本であり、醍醐味であると思います。

杜の都仙台にて7月19～21日に開催される第28回アジア太平洋地域大会は、正しくその楽しみを得るチャンスです。テーマは「Action! 前に進もう」です。「防災」・「復興」・「交流」をキーワードに、HCCも奮闘しています。是非、仙台にて、ワイズの輪を広げましょう。また、IBCをもっと積極的に活動しましょう。

ユース事業は、将来のワイズに必要なものです。若い力を、今後とも温かく見守り、青年の声に耳を傾けましょう。

いずれにしても、理事の職務を遂行する上で、直前・現・次期理事のトロイカ体制は、常に強固であり、ワイズダム活動の将来を拓かなければなりません。また今年度の理事キャビネットは、気心が知れていて、大変仕事の出来る環境になっています。また、気合いの入った4人の事業主任に於いては、その道のプロフェッショナルをお願いし、新しい事業展開を目指して、始動しました。

理事の総決算である第23回東日本区大会は、2020年6月6日に、北海道・十勝のホテル日航ノースランド帯広で開催されます。“Feel refreshed with Y's Spirit”緑溢れる十勝の地に、「夢いっぱい、自然いっぱい、腹いっぱい」近しい親戚に会いに来る感覚で、是非、メネットと一緒に来勝下さい。

最後に、副題である「みんなで力を合わせて 1・2・3」は、ワイズ活動の原点でもある元気を強調しています。輝かしい未来に向かって、ワイズメンのみんなで、力を合わせて参りましょう。





Message to Japan East Region

Jennifer Jones

International President 2019-2020

Dear Honoured Y's Leaders and Members in Japan East Region,

It is a great pleasure to send greetings to you in the first edition of the Japan East Regional Bulletin for 2019-2020. This is another chapter in the history of YMI in Japan East Region and I forward my congratulations to Regional Director Toshiaki Yamada and to the members who make up his leadership team for 2019-2020. You are fortunate to have had capable and dedicated people who have been able to serve at an Area and International level in the past and continue to do so under the guidance of current Area President Hiroyuki Tanaka. It is an interesting time for Y's Men International as we take up "Challenge 22" and seek to incorporate these activities into club life over the next three years. By taking action now, we will become part of the growing momentum which is already visible in many of our Areas. I hope that Japan East Region especially will join in leading the way. I know that plans are in hand to see how extension can further take place in your Region and Districts. There are many prepared to do their best in reaching these goals and targets and it is not too far away when we can celebrate our 100th Anniversary and the formation of this Association. Take time to reflect on past achievements and consider in what ways this can be enriched and enlarged through service and leadership in the future. Let us build a strong YMI to take us into the next 100 years!

In "Building Today for a Better Tomorrow" I am confident that we can further promote and strengthen the YMI mission where earnest service and warm fellowship is expressed and shaped by our core values, working together for the common good of all mankind.

Our motto "To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right", reminds us that there are two sides to every coin. YMI can offer members a wide range of experiences and benefits, but it is surprising to find out that great satisfaction can be achieved through service to others - through "servant leadership".

I encourage you all to think about how you can make a difference to YMI if you choose to! Be serious about your connections and opportunities within YMI - make them strong, make them enjoyable and make them significant!! Let's be "on the move" together.

Blessings and regards,

東日本区のリーダーとメンバーの皆さまへ

2019-2020年度 国際会長
ジェニファー・ジョーンズ

2019-2020年度の東日本区区報第1号にて、皆さまにご挨拶を申し上げることができることは大きな喜びです。東日本区における新たな1章の始まりであり、山田敏明理事とチームの皆さまにお祝いを申し上げます。東日本区は、これまでエリアおよび国際レベルで奉仕されてきた有能で献身的な方々を擁して来られ、現在のエリア会長の田中博之さんのリーダーシップ下でそれを続けていらっしゃることは、幸運なことです。

国際協会は、現在「チャレンジ22」を進め、今後3年間でこの活動をクラブライフに取り入れることを目指しています。今、行動を起こすことによって、私たちは、すでに私たちの多くの分野で見ることのできる成長の勢いの一部となるでしょう。特に東日本区に参画してリードしていただくことを願っています。皆さまの区や部でどのようにエクステンションを行っていくかの計画をお持ちだということを知っています。「チャレンジ22」の目標を達成するために最善を尽くす準備が出来ている人はたくさんいて、また、創立100周年を祝うことができるのはそう遠くはありません。過去の成果を振り返り、将来の奉仕とリーダーシップを通してこれをどのように強化し拡大することができるかを検討するために時間をかけてください。次の100年に私たちを連れて行くために強力な国際協会を構築しましょう！

私の主題の「より良い明日のために今日を築く」においては、真摯な奉仕と温かい交わりが、私たちの中核的な価値観である全人類に共通する良いことのために共に働くということによって表現され、形成される国際協会の使命をさらに推進し、強化することができるかと確信しています。

「強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う」という私たちのモットーは、あらゆるコインには2つの面があることを思い出させます。国際協会は、会員に幅広い経験と恩恵を提供することができますが、他の人への奉仕、つまり「サーバントリーダーシップ」を通して大きな満足が得られることを知るのには、実に驚くべきことです。

もし皆さまが望むなら国際協会をどのように変えることができるかについて考えることを全員にお奨めします！国際協会の中でのあなたのつながりと機会について真剣に考えてください — それらを強くし、それらを楽しくし、そしてそれらを重要なものにしてください！一緒に「さあ動きましょう!!」

祝福と敬意を込めて

お祝い、お礼そしてお願い



アジア太平洋地域会長 田中 博之（東京多摩みなみ）

東日本区2019-2020年度のスタートにあたり、アジア太平洋地域を代表してお祝い、お礼そしてお願いを申し上げます。

アジア太平洋地域は、東・西日本区の他に台湾、フィリピン、南東アジア、スリランカそしてオーストラリアの、合わせて7つの区によって構成されています。メンバー数は約3,500名で、その中で、東日本区が約25%、東西日本区を合わせると、約65%も占めています。

日本の皆さまのこれまでのお働きに心から感謝申し上げますとともに、皆さまには国際協会、アジア太平洋地域の一員であるという意識をより高めていただき、アジア太平洋地域の中核、リーダーとして、一層ご活躍いただくことを願っています。

特に、今、ワイズメンズクラブ国際協会は、2022年の創立100周年に向けて、これまでの100年を振り返り、守るべき伝統・遺産・アイデンティティーをしっかり受けついで、次の100年につなげていくとともに、新しい時代に相応しい組織、体制、サービスの提供を「チャレンジ22」として全世界で推進していこうとしています。東日本区の皆さまがこの取り組みの先頭を

走っていただき、世界のワイズの模範となられることに大いに期待しています。

さて、仙台での第28回アジア太平洋地域大会が間近に迫って参りました。これまでの東日本区、北東部、仙台の皆さまのご尽力に深く感謝申しあげます。まさに、東日本区の皆さまがアジア太平洋地域のリーダーとしてご活躍、ご奉仕いただいている、最高の具体的な表れです。この大会の企画、準備、運営を通じて東日本区がさらに元気になり、ワイズ運動の活性化にもつながることを切に願っています。

私のアジア太平洋地域会長としての主題は「Action!」です。どうぞ皆さまには、入会式、役員就任式式文にも謳われているワイズメンとして最も大切な「理想」をいつもお持ちいただき、その理想の実現のために、「行動」していただくことをお願いいたします。

東日本区のこれからのますますのご発展をお祈り申し上げます。

歩みを共に！風となれ、ひかりとなれ



西日本区理事 戸所 岩雄（彦根シャトー）

東日本区の皆様、今期西日本区理事を務めさせていただく戸所岩雄です。

北海道の大地のごとくおおらかで、大いなるリーダーシップを持ってワイズ活動を導かれようとしている山田理事のもと、東日本区が実りある実践の一年となれんことを期待し、共に歩む者として声援を送ります。

新しい元号のもとワイズメンズクラブの素敵な活動を心に描き、各部各クラブでスタートを切られたメンバーの一人一人に対し、共に「奉仕」を通じ繋がる西日本区メンバー全員を代表して敬意と友情を持ってエールを送りたいと思います。

西日本区の主題を『風となれ、ひかりとなれ—こころ豊かにあるために、輝くために』と掲げました。風のように爽やかに、人や地域に関わり、好ましい効

果を生み出す存在になろう。そしてその行為を行うことにより自分にもたらされる「心の豊かさ」を感じよう。

原点である“奉仕”により繋がることの楽しさ、豊かさをもう一度見つめてみようという思いです。

100年を迎えようとするワイズの歴史と多くの優れた先人により築かれ今日がありますが、ご存知のように今、私たちは多くの課題を抱えています。より良き地域の奉仕団体として継続していくために、さらに楽しみ多き運動を展開していくために、その在り方をメンバーの皆が模索し議論し実践してみようとしています。

日本区の東西の隔たりなく情報を共有し共に歩み、好ましい変革の一年でありたいと思いますので、どうかよろしく願い申し上げます。

感謝



日本YMCA同盟総主事 神崎 清一 (東京 西)

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の各部・クラブ・メンバーそしてメネットの皆様には、日頃より全国の都市YMCAならびに学生YMCAの活動をお支えいただきまことに、心より感謝申し上げます。

宮内友弥理事から山田敏明理事へと引き継がれ、これまでの歴史を大切にしつつ、その時宜に応じた取り組みをされてこられましたことに、そして新たな2019-2020年の歩みがスタートされましたことに心より敬意を表しますとともに、YMCAのみならず、各地の地域奉仕、平和へのご奉仕をされておられますことに感謝いたします。

本年度は、長年積み重ねてこられました事業に加えて、第28回アジア太平洋地域大会をはじめ、ワイズメンズクラブ設立100年に向けての取り組みとして実施される事業や運営につきましても山田敏明理事の巧みな舵取りと、役員の方々をはじめメンバー一人おひとりのお力によって、すべての事業が光り輝くものとなりますことを確信し、皆様のクラブライフ

がますます豊かなものとなられますことを祈念するものであります。

YMCAでは、「日本YMCA中期計画2020」の3年目を迎え、全国のYMCAが一致して、「ポジティブネットのある豊かな社会を創ること」を目標とし、「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンとして、更なる人財育成の強化、組織の事業の見直しなどに取り組んでいます。

貧困やいじめなどによって小さくされた人々や、異なる文化や価値観によって社会から排除された人々が、お互いが認めあい高めあう「ポジティブネット」のある社会を創りだすことを、ワイズメンズの皆さん一人おひとりの尊きお働きによって強められ、YMCAの諸活動がより実り豊かになることを祈るばかりであります。

最後に、YMCAでは本年9月にはYMCA東山荘で、アジア太平洋YMCA大会が開催されます。どうか皆様のお祈りに加えていただきいただきますようお願いいたします。東日本区の皆様、一人おひとりに神様が共におられますことに感謝して。

「山田丸」の船出にあたって

直前理事
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「勇気ある変革、愛ある行動！」を主題に掲げて山田理事年度が、いよいよスタートします。昨年度に引き続き、取り組むべき喫緊の重要課題である会員増強運動の推進を直前理事の立場で、トロイカの一員として山田理事をお支えし、併せ法人化再検討を含む組織のあり方についても今までの慣例ややり方に捉われず「勇気ある変革」を目指して全力でサポート致します。

言うまでもなく個々のクラブ、メンバーの方にその気になって良いお働きをして頂かなければ、ワイズ運動の活性化はあり得ません。

皆様、一致協力して東日本区を盛り上げましょう。

新しいことへの興味を活力源として

次期理事
板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

次期理事を拝任致しました。どうぞよろしくお願い致します。

ワイズのあらゆるレベル、あらゆるところで「勇気」、「挑戦」、「行動」、「変化」の実践が叫ばれています。そして東日本区が歴代理事と会員の皆様のご努力により徐々に、そして確実に変化に向け進んでいることを感じます。山田理事も主題として「勇気ある変革」を掲げておられます。これから皆さまと一緒に、また理事トロイカの一員として、変化の動きをサポートしていきます。またその動きを将来に継続し、さらなる変化を実現できるよう努力します。

歳を重ねるに従い知らないことが増え、同時に興味が増え、したいことが増え困っているこの十余年。新しいことを知る楽しさ、新しいことに挑戦する楽しさを活力源として頑張ります。

ともに働く書記として



書記
山下 真(十勝)

運動の要となる書記を拝命するにあたり、経験の浅い私のために多くの優秀なスタッフ・役員が用意されました。

このような方々や東日本区をはじめとする世界中のワイズメンとともに働ける喜びを、今、噛みしめているところです。

山田敏明理事は、その経験とバイタリティを礎に今後のワイズメン運動に一石を投じる逸材であることを皆さまに自信をもってお伝えすることができます。彼が取り組もうとする「勇気ある変革」を支える群れの中に私を置き、働かせてください。そして足を引っ張り気味な私を皆さまが励まし導いて頂けたら、この貴重な経験を通して私がどこまで成長できるか試されているのだと思います。

さわやかな十勝のなつ空のように！



会計
増中 文明(十勝)

山田理事の下、小山憲彦東日本区事務所長の指導を仰ぎつつ、副会計の相川達男さん、酒向裕司さんの協力を得ながら、迅速かつ丁寧に、会計業務を進めることを誓います。

2期目の監事



監事
漆畑 義彦(富士)

鈴木茂監事のもと1年目を曲がりなりにも務めることが出来ました。

見る猿・聞く猿・言わ猿は昨年、大役を仰せつかったときに決めたことですが、前期の務めが出来たか心許なく思っています。初年度先輩の御指導のもと収支決算書類のチェックをし会計監査を行うことが出来ました、感謝致します。

2期目は行政監査を担当しますが、幸いにして今期新任の辻監事は東日本区定款のスペシャリストでありワイズの行政に精通しています。定款に厳しく正しく、運用は柔軟にのびのびと大らかに活動出来ればと願っています。辻監事と協力しながら良く見て、良く聞いて務めを全う出来る用に精進致します。皆様の御協力をお願い致します。

監事を拝命して



監事
辻 剛(横浜つづき)

2019-21年度の監事を仰せつかりました辻剛です。新米でございますのでよろしく願いいたします。先輩の漆畑義彦監事のご指導をいただきながら、この1年はいろいろな勉強もしながら勤めさせていただきたいと思っていますので、その節はよろしくご協力のほどお願い申し上げます。私が担当させていただく2019-21年度は、ちょうど“Change!2022”プロジェクト期間とほぼ重複し、東日本区の今後に大きな影響を与える大切な時期です。もちろん、ワイズを取り巻く時代も環境も日々変化しています。

変えてはいけないワイズの理念や理想は守りながらも、変えるべきものに対しては柔軟かつ適正に対応できるように陰ながら背中を押し、そして東日本区の業務、財産を含め全ての状況が常に適正な状態にあるか見守っていかねばと考えています。

ワイズとかけて、なかなか火のつかない焚き火と解きます。その心はどちらも煙たがられます。なるべく煙たがられない、愛される監事になるよう努力しますので、ご協力よろしく願いいたします。

みつかるCS。つながるYMCA。 よくなっていくワイズ。



地域奉仕・YMCAサービス事業主任
片山 啓 (茨城)

1. みつかる CS(地域奉仕)

地域奉仕は、過去の約100年間に、全国で多くの奉仕が行われ、現在も多様な活動が実施されています。この過去に全国で実施された地域奉仕はワイズの財産だと捉え、情報を整理し、現在の活動への参考と後世に伝える目的で、データベースの構築を始めたいと考えています。

8月上旬に皆さまには部を通じてフォーマットを配布させて頂き、11月末をめどに部単位で情報提供をお願いさせて頂く予定です。データベースの完成後、今期中にデータを公開致します。

2. つながる YMCA

1) Yサのデータベース

YMCAとつながる(協働)活動についても、CSと同様に広く情報を収集・整理を行う計画で、上記と同様に各部で収集をお願いする予定です。

2) パートナースhipを考える

YMCAとのパートナーシップについても、各部や各クラブでご検討をして頂ければと願っております。参考にワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会での内容も、可能な範囲で共有致します。

3. よくなっていく ワイズ

1) 事業の継続

○ 地域奉仕・YMCAサービス写真コンテスト

随時募集し2020年5月15日締切り、6月の区大会で投票と表彰の予定で、「地域奉仕」と「YMCAサービス」に分けて募集をしたいと考えています。

○ 地域奉仕・YMCA サービス報告書の提出

11月・4月に部単位で回収して区大会で報告、区ウェブサイトでの公開を予定しています。

2) 「CS・Yサ・ASF資金運用規定」の運用見直し

本運用が、さらに有効活用が可能となるように、整備を進めていきたいと考えております。

仲間を増やそう!



会員増強事業主任
札埜 慶一 (熱海)

この度、会員増強事業主任に選出されました、熱海クラブの札埜慶一(フダノケイイチ)です。Y'sの仲間をたくさん増やしたくて、会員増強特別委員会「Change!2022」が組織されました。委員長として栗本治郎ワイズが互選され、私共々2022年までこの事業を強力に推進します。事業方針は3つ。

① 5人以上で新クラブ結成の奨励

趣味の会、同期の会、友人知人の集まり、社会と繋がりを持ちたい方等、対象は多種多様。

②フェイスブック等SNSを全クラブ作成し、各クラブの素晴らしい活動を外部に発信(初回トップページ作成は無料、東日本区で作成します)

実名の「フェイスブック」等を全61クラブで作成し、相互リンクを行います。トップページは東日本区HPと相互リンク、強力な外部への情報発信網とします。内向きのY'sから外向けもできるワイズへと変革、情報発信し仲間の増強に繋がりたい。

③外部から見た「宗教色を下げる」多様化したクラブの設立、クラブ変更を奨励

既存クラブでは各種儀式を行うクラブが見受けられますが、これらをあまり強調しなくても良い宗教色を下げた「富士山部」のような新クラブの設立や既存クラブのプログラム見直しの検討も奨励し世界の多様化に備えます。

基本方針として国際の定款を遵守「YMCAを支援する」とし、細かいプログラム部分は各部、各クラブ、各新クラブの裁量に委ね、区大会、部大会、例会、委員会等もそれに準じます。外部の方からの違和感、恐れを下げて新会員募集や卓話者を呼びやすくします。(現状でも既にそう言うクラブも多数ありますが個別裁量である事を改めて記載)

フェイスブック用の文書、データはクラブから部長または部EMC事業主査が毎月収集し、各月末までにメールでascot@purple.plala.or.jp榎本委員までご提出願います。順次初回のトップページは東日本区で個人情報保護に留意し作成します。

ワイズの広がりには飛び込もう！



国際・交流事業主任
板村 哲也（東京武蔵野多摩）

今年度の国際・交流事業主任を拝任致しました。どうぞよろしくお願い致します。

国際・交流事業委員会は、国際面では会員の皆様が各種献金や使用済み切手の収集販売などを通じて世界的レベルでの奉仕に参加されることを支援しています。また交流面では会員の皆様が国内外のワイズ、クラブ、他の団体と交流し相互理解を深め、楽しみながらより良い社会を作ることを支援しています。

馴染みのない用語や慣れない事業があるかもしれませんが、また、活動の広がりが大きくて相手の顔が見えないかもしれません。しかし一人ひとりが間違いなくどこかで誰かと繋がっていくことを確信し、改めてワイズの広がりには飛び込みましょう。

【事業分野】

国際：献金（BF/EF/TOF/RBM/YES）

交流：IBC、DBC

【事業計画】

- (1)各種献金事業(上記)の継続
- (2)アルファベットで略記されたワイズ事業の説明(特に「強調月間」で取り上げるテーマ)
- (3)国際協会からの情報の提供
- (4)ワイズ国際協会が取り組んでいるRBM(Roll Back Malaria: マラリア撲滅キャンペーン)への協力継続
- (5)使用済み切手の収集継続
- (6)IBC3クラブ、DBC2クラブ、トライアングルIBC2組以上の締結支援
- (7)2020年8月デンマークのオーデンセで開催される第74回国際大会に向けて内外ワイズの交流や情報交換、相互理解の促進

【お願い】

- ・理事が設定する献金目標達成にご協力ください。(クラブから部会計への送金期限:2月15日)
- ・IBC、DBC締結予定のあるクラブは事前にお知らせください。

ユース事業を知ってください



ユース事業主任
渡辺 大輔（東京武蔵野多摩）

今年度、ユース事業主任の渡辺大輔です、テーマは「共創」です。直前主任の方針を継続しつつ、さらに発展します。他の事業委員会、ユース、YMCAと共に良いものを創って行きたいと思っています。

予算・決算に関しても、より明確化が求められていますので対応していこうと考えています。事業委員会は2ヶ月に1度の開催とし、ユース事業委員会の活動をたくさんの方に知っていただけるよう事業委員会をオープンにし、多くの方に見学に来ていただきたいです。また、各クラブのユース担当と、部のユース主査、部のユース主査と区のユース事業委員会がシームレスに繋がるよう綿密に連絡系統を構築していきたいです。特に評議会の前などに主査の方を中心に各クラブのユース活動について情報交換をお願いします。

今期の活動は以下を予定しております。

▼アジア太平洋地域ユースコンボケーション(7/17～21)の参加支援-オリエンテーションなどは、前期の山本主任より行われますが、終了後の報告会を行う予定です。

▼(部主催の)ユース事業の支援-部内で行われるユース事業に対し、事業委員会より事業の一部の金額を補助します。

▼第32回ユースボランティア・リーダーズ・フォーラムの実施-9月6～8日、東京YMCA山中湖センターにて東京YMCA江東センター主管、衣笠(埼玉クラブ)実行委員長のもと行われます。ワイズメンの方もたくさんのご参加お待ちしております。

▼第9回オープンフォーラム・Yの実施-オープンフォーラム・Yは、社会問題に関心があり、解決を考えたい高校生・大学生・若手社会人が対象のユース事業委員会主催の研修会です。5～6月に実施予定です。

▼国際ユースコンボケーションの参加支援
2020年8月10～16日、デンマーク(オーデンセ)で行われます。こちらもぜひご推薦ください。

▼STEP、YEPPに関しても積極的に派遣、受入れでできるよう、多くの方に周知をお願い致します。

1年間是非ご協力をお願い致します。

新たな者としてYMCAと共に



北海道部部长
宮崎 善昭 (札幌)

いつの時代もYMCA運動は、地域の人々に新たな価値観とそれに基づく活動を提供し続けてきました。

今日、YMCAは、YMCAの理念をYMCAブランドという言葉でより具体的に表しました。人々とのポジティブな繋がりを大切にし、一人ひとりが「新たな者」としての自覚を持って、現在、自分を取り巻く環境や全て人間関係から学びを新たにし、深めていくことが求められているのではないのでしょうか。

YMCAのパートナーとしてのワイズメンもこの新しいブランドに賛同しコミットしていかなければなりません。ワイズメン一人ひとりの生き方が、それぞれの地域にあって正にポジティブネットのキーマンとして、あるいは平和な生き方の具現者としての自分を現していくという自覚が必要なのではないかと思っています。

仙台大会、北東部けっぱれ！



北東部部部长
鈴木伊知郎 (宇都宮東)

部長主題～われら北東部、世界のワイズメンと共に前へ進もう～
副題～距離に負けるな北東部～

7月19日-21日に仙台市仙台国際センターで第28回アジア太平洋地域大会が開催されます。北東部は2年前から大会開催の地元として、部をあげて大会開催に向け、プログラムや会場などの選定、準備などに実行委員会に協力してきました。そして、大会開催中も各種奉仕に多くのメンバーが参加します。

大会開催に向け開催決定時の部長であり、HCC実行委員会のメンバーの私が前回に引き続き部長として再登板致します。部長主題も涌澤直前北東部部長(仙台青葉城)の「チャンス到来 われら北東部から世界へ」を引き継ぎ、東日本大震災の際に人的な支援、献金、祈りを捧げて頂いた世界中のワイズメンに対し、部としてオモテナシを致します。ぜひ仙台にいられてエクスカーションで被災地を訪れ、復興が進む今を見て頂きたいと思います。

北東部は頑張り(けっぱり)ます。

～北東部部大会～

部大会は、アジア太平洋大会最終日、7月21日(日)の12時から13時まで、国際大会会場の仙台国際センター会議棟3階 白樫1で大会の慰労会も含め、部大会を開催する予定です。他部のワイズメンもお気軽にご参加下さい。



紡ぐ ワイズのこころ



関東東部部長
金丸 満雄（東京ひがし）

1997年7月東日本区がスタートし、部の再編で関東東部が誕生（9クラブ195名でスタート）しました。

現在、クラブ数は1クラブ増となったが会員数は129名となり減少しました。会員が減少したクラブが多い関東東部ですが、各クラブはアクティブに活動しています。このような現状の中、数年前から新クラブ設立に向け準備を重ねて来ました。そして今期、千葉クラブがスポンサーとなり船橋地区に、仮称千葉ウエストクラブ設立に向け準備が進められています。東京バイサイドクラブに続いての新クラブ誕生に、オール関東で支援をします。

今期関東東部部長として、これまで歩いて来た関東東部の歴史の重さを受止め、関東東部を盛り上げてゆきます。会員が減少したクラブが多い部です。しかし、各クラブ元気にパワフルに活動しています。らしさで現在行っている活動を通じ、地域へのアピールを強め、仲間を一人でも増やす活動の強化、クラブ交流も地域を越えた合同例会など、楽しい企画でクラブ活性化を積極的に進めるようお願いして行きます。部も、交流と親睦の一環として、部主催のリクレーションを考えます。

部長主題を「紡ぐワイズのこころ」としました。

「愛」を大事にワイズを楽しみ、仲間を一人でも増やす活動の強化を推奨します。クラブ交流も楽しい企画で、クラブ活性化を積極的に進めることをお願いし、関東東部の皆様とともにワイズのこころを紡ぎ、親睦と連携で魅力ある関東東部を目指します。

【活動計画】

- ※ 各事業主査との連携で事業計画の推進
- ※ ワイズとYMCAで事業を協同
- ※ 連絡を密にコミュニケーションの強化
- ※ 会員増強とノンドロップの推進
- ※ (仮称)千葉ウエストクラブ設立に向けオール関東で支援
- ※ 部大会10月5日(土)東京YMCA東陽町センター
- ※ 部主催リクレーション10月12日(土)神田川船の会

心を尽くして青少年YMCAのために



東新部部長
小川 圭一（東京世田谷）

平和を作るために働くたくさん
のNGO/NPO団体がある中で、
私はYMCAを応援協力しながら
生きてゆきたいと願っています。

それは、私自身と家族のキリスト教主義学校での学びと体験がありました。そして、YMCAのPTAのような存在が私たちのワイズメンズクラブです。

互いに敬愛の思いで結ばれる仲間とのクラブライフこそが、自由と愛と平和なのです。特に、山田年度においては、山田敏明理事のリーダーシップのもと、よりたくさんの方との交流を精一杯楽しんで、成果に繋がりたいと考えます。

【活動計画】

① 交流するワイズになろう

他クラブ例会やプログラムへの参加を通して、部内コミュニケーションの向上を図りましょう。各クラブで、具体的な行動目標を掲げて頂き、参加・交流を楽しみ全国に発信しましょう。

② ユース事業の支援

③ 国際・交流事業への支援

④ CS/YMCAサービス活動支援

⑤ EMCへの取組み。高齢化時代を生き抜く工夫、智恵、希望。

あずさ部の良さを次に繋げたい



あずさ部部长
赤羽 美栄子(松本)

山田敏明理事の下であずさ部部长を務めさせていただきます松本クラブの赤羽美栄子です。あずさ部は、11クラブ175名の大所帯で、しかも東京都、山梨県、長野県に亘る距離の離れたクラブ編成の部ですが、それにもかかわらず各クラブが特色あるCS活動をそれぞれ行っており、何事にも真摯に取り組んでおり、部全体もまとまっていると感じております。

このあずさ部をこのまま良い形で次に繋げていくこと、これが部長の仕事であると考え、諸先輩方のご意見を伺って、気負うことなく、部の役員、事業主査、各クラブ会長の方々と協力しながら活動していきたいと思っております。

主題は「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために！」としました。

何もワイズについて知らないながらもそこに集うワイズの方々の温かさを感じました。皆様にもワイズへの入会時のことを改めて思い起こしてください。その時ワイズへの“ときめき”を感じたのではないのでしょうか？それとそれぞれが積んできたキャリアや経験、幅広い人とのつながりなどを持っておられます。これらを重ね合わせて一人一人がワイズの地域奉仕活動やクラブ交流、更に会員増強に結び付けられると思っております。

また、今年度のあずさ部は、役員・クラブ会長の数がともに女性が男性を上回っており、更に魅力あふれた部になると期待しております。

各クラブ、課題はそれぞれありながらもみんな自分のクラブに誇りを持って活動しております。会員が増えずに悩んでいるクラブもあれば、年間で6人も増えたクラブもあります。お互いに情報を交換し合い、刺激し合う仲間でありたいと思っております。

これからの一年間、最後にある十勝での区大会参加を楽しみにしながら頑張ってもらいたいのでどうぞよろしくお願いいたします。

《部行事予定》

- 第1回評議会 2019年7月13日(土) 甲府21
部大会 10月19日(土) 松本
第2回評議会 2020年2月 8日(土) 東京たんぽぽ
第3回評議会 5月 9日(土) 甲府

ワイズを社会に広める基盤の再構築をする



湘南・沖縄部部长
森田 幸二郎(沖縄)

ワイズメンズクラブの活動を広く社会に浸透をさせるため、ワイズダムのメンバーを礎とした活動基盤の再構築を図ります。先ずは、本年度も継続しなければならない大きな柱として、会員増強運動を、大きな柱として継続して励めて参ります。

そのために、湘南沖縄部各クラブの独自の活動やイベント開催などワイズの特性を遺憾なく発揮していただき、それぞれのクラブに属すると楽しいと思えるワイズライフを体験していただくことを初めとして、毎日の生活を活性化させるパワーの源泉、奉仕のための経済性を得る活動を更に育ててまいります。

特に、ワイズメンズクラブにおいては、現代社会の問題である「互に関心がない」ことについて、精神的にも経済的にも豊かであるために、互に関心を持ち、関係の構築を果たしてゆくことも励めて参ります。

【主な日程】

- ・第1回評議会(横浜) 7月27日(土)
- ・第2回評議会(横浜) 11月16日(土)
- ・部大会(沖縄・サンブラザホテル) 2月22日(土)
- ・第3回評議会(横浜) 4月18日(土)

青少年のために尽くそう!



富士山部部长
長田 俊児 (下田)

今期部長を仰せつかりました下田クラブの長田でございます。

まさか部一の小兵な下田クラブに、このお役がそしてこの私に回ってこようとは夢にも思いませんでした。今までは対岸の火事にしか見ていなかった部の運営が、ドーンとひ弱な両肩にのし掛かって来たものですから、何もかも初めてづくしと言っても良いかも知れません。もう開き直りの状態ですが、ひ弱なりに一生懸命努めますので皆様どうぞよろしくお願い致します。

私のポリシーとして、人の世のワイズメンズクラブですから、その運営は、人と人との結び付きを土台として皆様のお手伝いをして参ろうかと考えています。私は性善説を信じます。ボランティアグループですからプレッシャーのない楽しいクラブライフを目指します。どうぞよろしくお願い致します。

小兵な下田クラブのメリットは、対岸の火事目線で部を眺められる事です。部のそれぞれの青少年関連行事を客観的に見る事が出来ました。もちろん各クラブが真剣に取り組んでいる行事ですので全て肯定、応援、勉強目線です。部のこの関連行事は本当に素晴らしい。自慢です。各クラブが、青少年育成を基調にメンバー共々楽しんで実践しています。サマーキャンプ、スキー教室、ドッチボール、サッカー、少年野球等それぞれ数百名の子供達と共に20~30年にもわたって取り組んでおります。感嘆の一言につきます。部としてもこれらの事業にもっと応援の取組を成さなければ「チョコちゃんにボーッと生きてんじゃねえよ!」と怒られますね!

部行事予定

- 2019/7/27 評議会
- 2019/9/29 部大会・下田クラブ40周年
- 2020/1/25 評議会
- 2020/5/1 評議会

区発展の原動力となる活動を求めて



文献・組織検討委員会委員長
利根川 恵子 (川越)

本委員会は、理事の諮問事項や各種文献の改訂および監修、さらに組織に関する協議などを行い、理事に答申をすることによって、東日本区の発展に寄与することが役目となっています。

昨年度は、会員増強に関する提言、事業分類と4事業主任の担当分野見直しなどを行い、答申からEMC委員会が設置されたり、区定款施行細則が改訂されたり、本委員会が、多少なりとも区の新しい動きの原動力となれたことを誇らしく思います。

今年度は、委員長として任期の最終年度です。まどめの年となるよう、昨年度末に宮内理事から諮問のあった、法人化への取り組みの検討をはじめ、さらなる区の発展の原動力となる活動を求めて取り組んでまいります。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

LT委員会活動について



LT委員会委員長
北村 文雄 (厚木)

会員の意識向上、リーダーシップ開発を通し、組織の再構築を図りたい。全てのワイズメンが会員減少と高齢化の問題は強く認識しているが、効果的な打開策を見出せずにいる。奉仕クラブにとって会員増強が最大の目標であってはならない。しかしながら、数こそ力である。強力な組織があつてこそ、健全なクラブ活動、奉仕活動が成し得る。現状を考えると今動かなければ復活はより困難に思える。

東日本区は「Change! 2022」の掛け声の下に区一丸となって取り組むことになった。ビジョンを掲げ活動する上において、まず重要なことは会員個々の意識向上である。ワイズ活動が魅力的で楽しく仲間を誘いたくなるようなクラブにするには、メンバー個々が主役であり、復活の担い手であるという認識で行動する。そのためのサポート・アドバイスを年間を通し発信したい。組織の新陳代謝推進の為、新入会員・若手会員へのサポートを行いたい。ワイズの魅力をより理解できる研修グッズを開発し発信したい。各種マニュアルの整備も引き続き取り組みたい。

東日本区ワイズ基金（JEF）について



東日本区ワイズ基金
運営委員会委員長
高田 一彦（千葉）

東日本区ワイズ基金運営委員会の目的は、当該基金の管理・運用・保全が主目的ですが、その前に募金活動を推進する必要があります。今年度も50万円を目標額に掲げました。この基金は、ワイズダムに関わる組織や人々の感謝の心を表す機会として、個人やクラブの記念行事等に献金を捧げる形をとってきましたが、機会ある毎に自由献金もお願いしたいと思います。各クラブの例会（特に強調月間等）においても、ワイズダム発展の為に献金して頂ければ幸いです。

昨年度は、アジア太平洋地域大会や会員増強プロジェクト支援の為に使われており、通常会計では対処できない突発的な出来事への対処、また多額の出資が必要となった場合に活用されています。皆様の熱きワイズへの思いを是非JEF献金へお捧げください。

Change! 2022



Change!2022
推進委員会委員長
栗本 治郎（熱海）

ワイズメンズクラブ国際協会は2022年に創立100年を迎えます。国際協会では、2010年に“Towards2022”という100周年を目標とした会員増強ビジョンを策定いたしました。東日本区におきましても、東日本区発足の1997年の時点で1246名であった会員数が、毎年のように減少を続けております。このままいくとワイズ運動継続の重大な危機を迎えることとなります。そこで『2022年をゴールとする中期会員増強計画』を作り、それに基づいて会員増強運動を展開することになりました。

この計画に当たり、各クラブの実情およびご意見をお聞きし、東日本区一体となって会員増強を図りたくアンケートを実施いたしました。アンケートの中でこの運動のネーミングを募集し、この度『Change! 2022』に決定致しました。会員増強運動への絶大なご理解ご協力を宜しくお願い致します。

アジア太平洋地域大会参加で、復興を確認しよう



東日本大震災支援対策本部長
山田 敏明（十勝）

東日本大震災が発生して、8年余りが経過しました。この間、私たちワイズメンは、少しでもこの教訓を生かして、様々な事業を展開してきました。今後も支援活動を続け、大震災を風化させてはいけません。

国などのハードな復興が進んでも、ワイズ活動の原点となる寄り添うソフトな活動は、今後とも必要です。募金活動及び被災地への訪問を中心に活動していく所存です。

とりわけ7月19～21日に仙台にて第28回アジア太平洋地域大会が開催されます。現地の復興を確認するには、絶好の機会です。東日本区挙げての事業ですので、一人でも多くの参加をお願いします。「Action! 前に進もう」

未来のワイズダムのために



ヒストリアン
仙洞田 安宏（甲府）

ヒストリアンは、東日本区の出来事を把握し、その活動を歴史として整備することを目的としています。具体的には、区報、区大会資料、加盟認証状の写し、クラブ記念誌等の書類の保存・整備です。これらにつきましては、関係する役員の皆様、クラブの皆様の協力が必須ですので、よろしくお願い致します。

私の前任者であった吉田明弘さん（東京西）は、ヒストリアンは「将来、何をすべきなのかを考える資料を提供すべき」と言われました。重い課題ですが、未来のワイズダムに、刺激を与えるようなことができればと思います。

Change! 2022をITの分野でサポート



ITアドバイザー
大久保 知宏 (宇都宮)

今年度も引き続きITアドバイザーを務めます大久保です。1年間よろしくお祈いします。ITアドバイザーは、東日本区ウェブサイト、メーリングリストの保守を主な業務としています。ウェブサイトでは各クラブのブリテンの格納を行います。インターネットの即時性をいかしたニュースの配信も広報・伝達専任委員の山下書記と連携して行いたいと思います。また、「Change!2022」の実現手段としてのSNSの活用もサポートも行います。あわせて、前年度の役員会で決議された人財データベースの構築に着手します。人財データベースとは、個人情報保護しながら、メンバーのタレントを全体で活かせるような仕組みと考えています。あらためてご案内させていただきますので、その際は積極的な登録へのご協力をお願いいたします。

BF代表を受け入れ、 国際交流の喜びを！



トラベルコーディネーター
長澤 山泰 (東京)

トラベルコーディネーター(TC)を務めます東京クラブの長澤山泰です。TCの役目としては、BF代表の受入日程作成と査証取得を含めた準備が主となります。前年度はBF代表の来日はありませんでしたが、4月にBF代表として約1ヶ月間に亘り、アフリカ4ヶ国を訪問した比奈地康晴ワイズ(東京)の手配をさせていただきました。

BF代表の受け入れは隔年となりますので、今後具体的な来日日程が決まりましたら、各部長を通じて担当クラブでのアテンドをお願いするようになります。ホストを受けていただく部とクラブにはご負担をお掛けいたしますが、主旨をご理解賜り、実り多い交流の場を設けていただければと思います。その節は、何卒ご協力をいただきますよう、宜しくお願いいたします。

「きずな」を強める広報活動を



広報・伝達(PR)専任委員
山下 真 (十勝)

私に与えられた広報活動には二つの目的があると考えています。ひとつはEMCに対する皆さまの思いを背景とした外に向けたワイズメンズクラブの理解促進です。

もうひとつは内部に向けた東日本区や各クラブの動きを適時にお伝えする活動です。

ふたつの目的の中でワイズの素晴らしさやとりわけ楽しさをお伝えできればなと思います。

外にも内にもワイズメンとの「きずな」を深め広げる広報活動をみなさまのお支えで目指します。

インターネットを軸とした情報の氾濫に埋没せず、キラリとした小さな灯火をWEBサイト・理事通信・区報・ワイズドットコム・facebookなどを活用し自信をもって発信し続けていきます。

入りたくなるワイズ、 支えたくなるYMCAを目指して



東日本区担当主事
光永 尚生 (三島)

全国のYMCAでは、これまでの働きを更に強めていくために、「日本YMCA中期計画2020」を策定しております。YMCAは1844年の創立から175年目、2022年に「キャンプ100周年」を迎えます。

中期計画の「見える化」の方策として、KPIという手法を用いて、全国YMCAの事業を①ユース前期②ユース後期③シニア④社会への貢献活動と分類し、指標を設けます。キーワードとして、「伴走プログラム」を考えています。いつのときも、「そっと寄り添う」ということを念頭に、「入りたくなるワイズ、支えたくなるYMCA」を標榜する1年となるように祈りつつ歩んでまいります。1年間、宜しくお願いいたします。

東日本区事務所は裏方です



東日本区事務所長
小山 憲彦 (東京サンライズ)

東日本区が円滑に運営されるように、理事および理事スタッフの働きを側面から支えることが東日本区事務所の役割です。会長の皆様には区からさまざまな書類や報告の提出をお願いすることになります。必ず期日を守って、忘れずに提出することをお願い致します。また各種献金等部を経由するもの、直接区会計へ送金するもの等、間違わずに処理して下さるよう、お願い致します。

東日本区事務所は、月・水・金曜日の午後のみ開所しています。ご質問、お問い合わせなど、何でも遠慮せずにお尋ねください。すぐに回答できなくても、調べてなるべく早く回答いたします。

黒子に徹して、皆様のご奉仕をサポートしてまいります。ご協力をお願い致します。

理事スタッフの一員として



副書記
仙洞田 安宏 (甲府)

東日本区定款の改訂で、理事事務局という名前が消え、それに替わり、理事は必要ある場合は、副書記を置く事ができることとなりました。前年度もそのような態勢で運営されています。2015-16年度に書記を経験していますので、おおよその流れを承知しているものと山田理事が判断されたのか、副書記の指名を受けました。

微力ではありますが、副会計のお二人とともに、山下書記をサポートし、東日本区事務所との連絡を密にしなが、理事スタッフの一員として東日本区の円滑な運営に努力してゆく所存です。

副会計を拝命して



副会計
相川 達男 (東京江東)

今期、区副会計と言う聞き慣れない職務を仰せつかりました東京江東クラブの相川達男です。

区副会計はこれまでの理事事務局補佐に代わるものとなります。山田理事の本年度の活動をお支えする職であることに変わりなく、大変微力ではありますが理事スタッフの一員に参加させていただきます。理事の所属クラブ十勝クラブと私の所属する江東クラブがDBCで有るため在京の連絡係としてお声がけいただいたと思われませんが、何分微力なため今回は同じ江東クラブの酒向氏と二人で一人分の職務をお引き受けするという変則的な事をお認めいただき感謝いたしております。未だ具体的な実務が理解しきれていない部分も多々ございますが、理事スタッフの補佐役として東日本区運営のお手伝いをさせて頂きますので宜しくお願いいたします。

副会計を拝命して



副会計
酒向 裕司 (東京江東)

今年度新設された副会計のひとりを拝命させていただくことになりました。以前の事務局長である

副書記を支える役目を務めていきますのでよろしくお願ひします。

副会計の打診があった際、正直受けていいものかどうか悩みました。クラブの状況を鑑みて、対外活動よりクラブ内が重要ではないかと思ったからです。しかし、DBCの十勝クラブの山田今期理事からの依頼であり、相川氏とも相談して二人で一役を分担することで受けることにしました。引き受けた以上は役目を全うしたいと思います。いろいろ力不足かと思いますが、今期のキャビネットを支える裏方として協力していきますので、よろしくお願ひします。

2019-2020年度 東日本区予算

会員数前期880名後期940名 1CHF120円 1USD115円として

項目	2019-20予算	参考		算出根拠
		2018-19予算	2017-18決算	
収入の部				836*7500+896*7500+44*4000
東日本区費	13,166,000	13,766,000	12,776,500	会員数前期880名・後期940名(主事44名含む)
ハンドブック&ロースター	1,517,500	1,517,500	1,505,200	1,700円×820冊 + 1,900円×65冊=1,517,500
入会金	480,000	480,000	294,000	入会者 80名×6000円
物品売上	150,000	150,000	73,665	ワイズ読本等
国際加盟金	36,000	36,000	0	100CHF×3クラブ×120円
YMIワールド補助金	102,480	106,080	107,436	854名×1CHF×120円
受取利息	0	0	801	
雑収入	115,000	115,000	3,666,492	SDS基金 USD1,000×115円
ロースター広告	600,000	600,000	0	
YVLF	1,180,000	1,200,000		20,000×59クラブ(2018-2019繰越金)
ユース活動参加費	360,000	120,000		
収入の部小計	17,706,980	18,090,580	18,424,094	
前期繰越金	9,417,508	6,223,192	5,279,487	
合計	27,124,488	24,313,772	23,703,581	

支出の部				
国際会費	3,843,000	3,990,000	3,591,973	880名×17.5CHF×120円+940名×17.5CHF×120円
アジア太平洋地域会費	627,900	655,500	592,718	880名×USD3×115円+940名×USD3×115円
アジア地域災害緊急支援金	202,400	211,600	202,309	880名×USD2×115円
国際加盟金	36,000	36,000	0	100CHF×3クラブ×120円
ヤングメンバー補助金	0	70,000	52,000	10名×7,000円(39歳以下の会員に区大会の登録費の半額補助)
東日本区大会負担金	440,000	460,000	443,000	500円×880名
東日本区事務所費(人件費)	1,200,000	1,200,000	1,000,000	
(家賃)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
会議費	100,000	100,000	21,521	飲物代・会議室代
旅費・交通費	2,050,000	2,050,000	1,750,500	委員会・役員会、部研修会LT委員旅費等
区・事業費	1,100,000	1,200,000	1,039,258	メネット活動費、区大会招待費・表彰等
部・事業費	964,000	976,000	1,143,000	部当たり10万×7部+300円×880名
事務通信費	400,000	300,000	331,796	プロバイダー料、電話料、送料
宣伝印刷費	350,000	350,000	446,820	区報印刷費2回分、YMIワールド
コピー機カウンターチャージ	400,000	400,000	205,852	リース料含む
ハンドブック&ロースター	1,449,000	1,479,000	1,588,140	1,500円×870冊 + 1,600円×90冊=1,449,000
消耗品・事務用品費	100,000	100,000	33,335	
EMC物品費	635,000	635,000	154,470	新入会員キット(1名当たり4,000円) 80名、3クラブ分ギャベル他(1クラブ105,000円)
慶弔費	30,000	50,000	26,992	弔電、祝電
銀行手数料	30,000	30,000	21,530	
雑費	50,000	50,000	859	
予備費	50,000	300,000	0	
ユース活動費	640,000	630,000	0	
YVLF	1,500,000	1,290,000	0	
活動費補助 理事/次期理事/直前理事	80,000	80,000	80,000	理事4万、次期理事2万、直前理事2万
書記/会計	40,000	40,000	40,000	2万×2
事業主任	80,000	80,000	80,000	2万×4
部長	140,000	140,000	140,000	2万×7
委員長/専任委員	80,000	80,000	60,000	1万×8
監事	20,000	20,000	20,000	1万×2
理事スタッフ	30,000	20,000	20,000	1万×3 (副書記、副会計×2)
支出の部小計	17,867,300	18,223,100	14,286,073	
次期繰越金	9,257,188	6,090,672	9,417,508	
合計	27,124,488	24,313,772	23,703,581	

東日本区行事予定表

年	月	強調月間	東日本区行事・報告・送金	各部・西日本区	国際・YMCA
2019	7	キックオフ YMCAサービス ASF RBM	6 第1回役員会 10 各クラブ前期半年報部長提出 15 同上(部長→会員増強事業主任) 31 迄 前期区費請求書発送	21 北東部部大会	17-21 AYC(石巻) 18 アジア太平洋地域議会(仙台) 19-21 アジア太平洋地域大会(仙台)
	8	CS	15 前期区費納期 下旬 臨時代議員会(郵送)	31 北海道部部大会	10 国際半年報
	9	ユース	6-8 ユースボランティアリーダーズフォーラム	29 富士山部部大会	8/31-9/2 ユースアッセンブリー(オリンピックセンター) 2-6 アジア太平洋YMCA 同盟大会(東山荘)
	10	EMC/E YES	26 次期部長・事業主任研修	5 関東東部部大会 12 東新部部大会 19 あずさ部部大会	
	11	ワイズ理解 ファミリーファースト	2 第2回役員会 10 ワイズデー		14-17 国際協会合同 RDE トレーニング(米オハイオ州)
	12	EMC/MC	8 祈りの輪		アジア太平洋地域年央会議 国際投票
2020	1	IBC/DBC	10 各クラブ後期半年報部長提出 15 同上(部長→会員増強事業主任) 31 迄 後期区費請求書発送		15 国際役員投票スィス必着
	2	TOF	15 後期区費納期 15 各種献金納期(クラブ→部) 28 各種献金納期(部→区)	22 湘南・沖縄部部大会	10 国際半年報
	3	BF メネット	7-8 次期クラブ会長・部役員研修 13 代議員会告示		
	4	LT	4-5 第3回役員会(現・次期合同) 10 代議員会議案締切	18 東西理事連絡会議	
	5	EF/JEF	1 代議員会議案送付 15 JEF エントリー締切		
	6	評価	5 第4回役員会 6 代議員会 6 第23回東日本区大会(十勝)	13-14 西日本区大会(大津)	日本YMCA同盟協議会
	7		上旬 次年度役員会		
	8		下旬 臨時代議員会(郵便)		

2019-2020年度 クラブ会長一覧

北海道部			31	東京多摩みなみクラブ	深尾 香子
1	札幌クラブ	伏木 康	32	東京町田スマイリングクラブ	為我井輝忠
2	北見クラブ	藤原 和久	あずさ部		
3	十勝クラブ	池田 正勝	33	甲府クラブ	標 克明
4	札幌北クラブ	佐藤 國彦	34	東京山手クラブ	浅羽 俊一郎
北東部			35	東京西クラブ	篠原 文恵
5	仙台クラブ	中川 典幸	36	東京武蔵野多摩クラブ	大輪 匡史
6	前橋クラブ	岸 龍也	37	松本クラブ	中本 晶子
7	宇都宮クラブ	本多 啓夫	38	東京サンライズクラブ	小山 久恵
8	仙台青葉城クラブ	南澤 一右	39	甲府21クラブ	荻野 清
9	足利クラブ	諏訪 治男	40	東京八王子クラブ	並木 信一
10	会津クラブ	青山 孝男	41	東京たんぼぼクラブ	越智 京子
11	宇都宮東クラブ	岡田 孝司	42	富士五湖クラブ	望月 喜代子
12	那須クラブ	河野 順子	43	長野クラブ	森本 俊子
13	もりおかクラブ	三田 備平	湘南・沖縄部		
14	仙台広瀬川クラブ	門脇 秀知	44	横浜クラブ	古田 和彦
15	石巻広域クラブ	石川 光晴	45	沖縄那覇クラブ	玉城 哲人
関東東部			46	鎌倉クラブ	千葉 裕子
16	東京江東クラブ	山崎 常久	47	横浜とつかクラブ	浦出 昌吉
17	千葉クラブ	石丸 隆章	48	厚木クラブ	日下部 美幸
18	東京グリーンクラブ	西澤 紘一	49	金沢八景クラブ	峯尾 舜
19	埼玉クラブ	上松 寛茂	50	横浜つづきクラブ	今城 高之
20	東京北クラブ	金 秀男	51	沖縄クラブ	手登根 正
21	所沢クラブ	東 裕二	52	横浜つるみクラブ	久保 勝昭
22	東京ひがしクラブ	飯田 歳樹	富士山部		
23	川越クラブ	吉野 勝三郎	53	熱海クラブ	深澤 勇弘
24	茨城クラブ	熊谷 光彦	54	沼津クラブ	菅沼 道子
25	東京ベイサイドクラブ	久保田健太郎	55	伊東クラブ	久保田 康正
東新部			56	三島クラブ	石川 敏也
26	東京クラブ	加藤 義孝	57	下田クラブ	土屋 誠
27	東京むかでクラブ	今井 武彦	58	熱海グローリークラブ	勝又 隆吉
28	東京世田谷クラブ	朝倉 正明	59	御殿場クラブ	高橋 啓子
29	東京町田コスモスクラブ	今村 路加	60	富士クラブ	吉澤 廣美
30	東京センテナリアルクラブ	徐 鐘煥	61	富士宮クラブ	石川 泰仁

2019-2020年度 東日本区役員・委員長等一覧

東日本区役員	常任役員	理事	山田 敏明	十 勝	委員長	文庫・組織検討委員会委員長	利根川 恵子	川 越	
		次期理事	板村 哲也	東京武蔵野多摩		LT委員会委員長	北村 文雄	厚 木	
		直前理事	宮内 友弥	東京武蔵野多摩		東日本区ワイズ基金運営委員会委員長	高田 一彦	千 葉	
		書記	山下 真	十 勝		東日本区奈良傳賞選考委員会委員長	山田 敏明	十 勝	
		会計	増中 文明	十 勝		地域奉仕・YMCAサービス事業委員会委員長	片山 啓	茨 城	
	事業主任	地域奉仕・YMCAサービス事業主任	片山 啓	茨 城		会員増強事業委員会委員長	札 埜 慶一	熱 海	
		会員増強事業主任	札 埜 慶一	熱 海		国際・交流事業委員会委員長	板村 哲也	東京武蔵野多摩	
		国際・交流事業主任	板村 哲也	東京武蔵野多摩		ユース事業委員会委員長	渡辺 大輔	東京武蔵野多摩	
		ユース事業主任	渡辺 大輔	東京武蔵野多摩		メネット委員会委員長	澁谷 実季	所 沢	
		部長	北海道部部长	宮崎 善昭		札 幌	特別委員会	東日本区大震災支援対策本部長	山田 敏明
	北東部部长		鈴木 伊知郎	宇都宮東		東日本区事務所人事委員会委員長	板村 哲也	東京武蔵野多摩	
	関東東部部长		金丸 満雄	東京ひがし		Change12022推進委員会委員長	栗本 治郎	熱 海	
	東新部部长		小川 圭一	東京世田谷		専任委員	ヒストリアン	仙洞田 安宏	甲 府
	あずさ部部长		赤羽 美栄子	松 本		ITアドバイザー	大久保 知宏	宇都宮	
	湘南・沖縄部部长		森田 幸二郎	沖 縄		トラベルコーディネーター	長澤 山泰	東 京	
富士山部部长	長田 俊児		下 田	広報・伝達(PR)専任委員	山下 真	十 勝			
監事	監事	漆畑 義彦	富 士	東日本区事務所	東日本区事務所長	小山 憲彦	東京サンライズ		
	監事	辻 剛	横 浜	東日本区担当主事	担当主事	光永 尚生	三 島		
					理事スタッフ	副書記	仙洞田 安宏	甲 府	
						副会計	相川 達男	東京江東	
						副会計	酒向 裕司	東京江東	



メネット報

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION

2019~2020

Notes & News



国際会長 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow
アジア太平洋地域会長 アクション! Action!
東日本区理事 勇気ある変革、愛ある行動! Innovation with courage, action with heart!

2019.7.1 発行 第1号通巻62号



新たな出会いを求めて —魅力あるワイズメネットとして

メネット委員会委員長 澁谷 実季 (所 沢)

今年度、ワイズメネット委員長を務めます澁谷実季です。2018年の沼津におけるメネットアワーに参加していた時、「このままだ参加しているだけでいいのだろうか、何かお手伝いできないだろうか」との思いを抱きました。委員の方々に憧れを抱きつつ、受け身ではなく積極的にこの委員会に関わりたいとの思い、視野を広げ、女性として成長することができるかと確信し、直前の井上優子委員長にこの思いをお伝えしたことから始まりました。若さ故に経験も浅く未熟な者ですが、皆さまの温かいご指導をいただきつつ、一年の歩みを始めて行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

事業主題は「新たな出会いを求めて—魅力あるワイズメネットとして」と掲げ、山田敏明理事の「勇気ある変革、愛ある行動! —みんなで力を合わせて、1・2・3」の主題と共に、既存の関係性に留まらず、新しい出会いをワイズメネットも積極的に求めて行くこと、各クラブのメネット会の活動が休止となっていく現実の中で新たな形を模索し、衰退するのではなく活性化に繋げていくことを目標としていきます。また、メネット献金の推進を図り、メネットがないから献金しない・関係がないからしないというのではなく、YMCAを支援する目的(絵本の贈呈)を含んでいることをご理解いただき献金してい

ただけるよう情報発信をしていきたいと思っております。どうぞご理解とご協力をお願い致します。

事業計画は、

- ①メネット献金によるプロジェクトの実施として、国内はYMCA施設へ絵本の贈呈、東日本大震災復興支援、国際プロジェクトとしてアルバニア首都ティラナで働く若者への支援(2019-2021)、国際登録費の送金
- ②第23回ワイズメネットのつどい
- ③第23回東日本区大会でのメネットアワー(十勝)を計画しております。

いよいよ2019-2020年度がスタートします。山田理事からの「5年は続けてね」との魔法の言葉を受け止めつつ、笑顔の絶えないメネットの力を発揮し、和気藹々と楽しい委員会を構成して参りたいと思っております。



【第22回東日本区大会 メネットアワーにて】



ワイズメンズクラブ国際協会

第23回東日本区大会

2020年6月6日(土)

会場 ホテル日航ノースランド帯広 (北海道十勝の国★帯広市西2条南13丁目)

■ホストクラブ：十勝クラブ ■協カクラブ：北海道部各クラブ